ブラウンド・ゴルフのルール

第1章― エチケット

競技者は自分の競技が終った ら、すみやかに次の競技者の 妨げにならない場所に行く。



競技者が打つ前後は、 話したり、球やポス トの近くにあるいは

第2条

球まだはポストの酒く 000 後に立ったりしてはならない。また、 自分だちの前を行く組が終わらなくて は、球を打つてはならない。



第3条

競技者は、自分の作った穴や足跡を 全郎頂して行かなければならない。

第2章 競技に関する規則



第4条

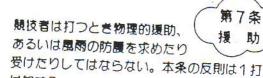
グラウンド・ゴルフのゲームは、所 定のボールをきめられた打層にし たがってスタート位置から打ち始 め、ホールポストに入れるまでの(入って静止し た状態を"トマリ"という。以下同じ)打数を競 うものである。

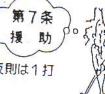


付加する。

スティック・ボール・ホールボス トはグラウンド・ゴルフ用を使 用すること。

第6条 競技中の練習 競技中は競技者はいかな る打球練習も行なってはならない。本条の反 則は1打付加する。





第8条 球はあるがまま の状態で競技する

球ガ長い草、または木のしげみな どの中にあるときは、球の所在と

自己の球であることを確力める限度においてのみ、これらの ものにふれることができ、草を刈ったり、木の枝を折ったり してはいけない。本条の反則は1打付加する。

000

第9条

球の打ち方 (1)競技者ガ1打で球を2回打 ったときは、2打と数える。 ただし、から振りの場合は打数に数えない。 2)競技者は打つときに地面をしつかり踏むこ とはできるが、足場を木などで作ってはいけ ない。本条の反則は1打付加する。



第10条 紛失球とアウト球

球が紛失したり、コー ス外(みぞなどに落ち た場合) に出たときは

競技者は1打付加し、動かしたその位置からで きるだけホールに近よらないで、打球可能な簡 所に球をおいて次の打を行わなければならない。

競技の妨げになる球は、一時的 に取り除くことを要求すること ガできる。取り除くのは、球の 持主が行う。その際、ホールに 対して球の後方にマークし取り 除かなければならない。ただし、ぐ 30m以上のコースの1打目は除く。

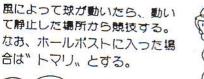
第11条 競技の妨げ になる球

競技者の球が同伴者 の球に当たったなら ば、球の止まったと ころから競技を続け、

同伴競技者の球は元の位置にかえす。

第12条 同伴競技者の 球に当たった場合

0







第13条 P止まった球が 風によって 動いたとき

1 打目で"トマリ"となったと きは、その競技者の含計打数力 ら3打差引いて計算する。

第3章-コースに関する規則



第15条 -スの選定

コースは、グラウンド・ 野球場・河川敷など広い場所が好ましい。

ポストは内回りコース 4ポスト、外回りコー ス4ポスト計8ポスト を原則とする。(標準コース図参照)

第16条 標準コース

